

校長挨拶

～生徒の多様性に応える学校～



校長
今瀬 一博

大子清流高等学校の「スクールガイド」をご覧ください、ありがとうございます。

本校は、長い歴史と伝統を持つ、大子第一高等学校（1907年～2006年）と大子第二高等学校（1910年～2006年）の精神を受け継ぎ、2004年4月に誕生しました。

本校の特徴は「生徒の多様性に応える学校」と言えますが、まずは「多様な学び」を実現する二つの学科、「農林科学科」と「総合学科」の特徴からお話します。

「農林科学科」では、1年次で農業と林業の基礎を学び、2年次以降は「農業科学コース」と「森林科学コース」に分かれて専門性を深めます。専用の農場や演習林では様々な実習や実験を通して、自然の素晴らしさや生命の尊さを学びつつ、田植え、稲刈り、収穫祭等は共同で行い、互いの絆を強めます。多くの実習の中には、大子ならではの「奥久慈しゃもの飼育」、「蒟蒻芋の栽培」、「オオクワガタの繁殖飼育」、「ドローン講習」等ユニークなものもあります。将来の進路は、就職のほか専門性を生かした大学等への進学にも対応しています。なお、農林科学科は全国募集を行っており、県外及び県内遠隔地からの入学生も受け入れます。その場合、住宅の斡旋や住宅費の補助等、大子町からの充実した支援があります。

「総合学科」では、1年次に全員共通の授業を受け、2年次以降は進路希望に応じて「人文科学系列（文系）」、「自然科学系列（理系）」、「福祉系列」から一つを選択します。ここでは生徒の希望に沿って、国公立大学、短期大学、専門学校等への進学、公務員、民間企業への就職等、幅広い進路希望を実現するため、習熟度別授業や少人数授業、課外授業等を実施するとともに、3年間を通して系統的なキャリア教育を行い、進路意識を育み学力の向上を図ります。「人文科学系列」、「自然科学系列」の選択者で大学・短大進学希望者は、文理進学型のカリキュラムで、就職・専門学校希望者は基礎教養型のカリキュラムで学びます。「福祉系列」では、複数の福祉施設と実習契約を結び、学習内容や身に付けたスキルを、より実践的に体得できます。

その他の特徴的な取組としては、グローバル化に対応した国際教育にも力を入れています。大子一高時代から続く「タイ王国カセサート大学附属高等学校」との相互訪問による交流事業では、同窓会やPTAの支援により、充実した文化交流を実現しています。農林科学科生徒対象の、国土緑化推進機構主催「森林・林業専攻高校生国際交流研修」では、インドネシアで熱帯雨林の現状を学び、現地の高校生や研究者と交流します。このようなグローバル教育をとおして、広い社会性や多くの知見を得ることができます。

また、地元の大子町とは人材育成や地域活性化等のための連携協定を結び、国際交流及び学力向上（Classiの活用）、部活動に対する支援、給食提供等の援助を受け、学校からは、町の事業等へのボランティア派遣や町づくりへの提言などを行います。

このように本校では、生徒の多様性に対応したきめ細かな教育を通して、将来、それぞれの分野で活躍し社会に貢献できる、心豊かで活力ある若者を育てたいと考えております。大子清流高校で皆さんの豊かな学びの扉を開いてみてはいかがでしょうか。

生徒会長からメッセージ



生徒会長
吉野 司
(3年・大子中)

大子清流高校には、専門的な技術を身に付けられる農林科学科と、就職と大学進学どちらにも対応した学習のできる総合学科の二つがあります。自分に合った学科で学習することで、自分の夢や目標の実現に近づくことが出来ます。また、部活動も盛んで、勉強と部活を両立して頑張っている生徒が沢山います。姉妹校であるタイ王国のカセサート大学附属高校との国際交流もあり、私も実際に参加しました。英語力の向上だけでなく、これからの社会に必要なコミュニケーション能力を身に付けることが出来ると実感しました。